



蔵の町並み (村田商人やましよう記念館)

重厚な店蔵と門が一体となり、連続する景観が印象的な町並み。通りの両側には、短冊形の地割が整然と並び、江戸時代の「町人地」の姿を今に留めています。村田商人やましよう記念館は、江戸後期から昭和初期にかけて紅花などの商いで栄えた「やましよう」の往時を偲ばせる建物です。

村田町産業振興課 ☎0224-83-6406

村田町 Murata



鯉口は拝殿に吊り下げられ、参拝者が綱打ちする用具です。

大河原町 Ogawara

大高山神社

西暦571年の創建といわれ、柴田郡の総社格として由緒ある神社です。国指定重要文化財の鯉口、鉄九輪塔、南蛮鉄鳥居、絵馬の数々と、多くの文化財が残されています。

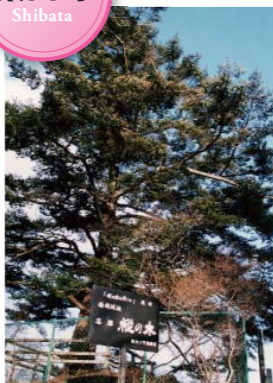
大高山神社 ☎0224-52-1382

柴田町 Shibata

『縦の木は残った』のゆかりの地船岡城址公園

山本周五郎作のNHK大河ドラマ「縦の木は残った」(昭和45年に放映)は、今から約340年前、仙台藩3代目藩主、伊達綱宗が不行跡を理由に幕府から隠居を命じられ、3歳の亀千代が家督を相続したことに端を発する伊達騒動(寛文事件)をテーマにした作品です。

柴田町商工観光課 ☎0224-55-2123



『縦の木は残った』の主役となる原田甲斐の居城跡が船岡城址公園です。そこには作品に登場する縦の木があります。



あいきょういん 愛敬院

丸森には修験者(山伏)がいた寺院が多くあり、不動尊公園内にある「愛敬院」もそのひとつです。山門として文化・文政の頃に建てられたといわれている仁王門は、町の有形文化財に指定されています。後に義民と呼ばれた菊地多兵衛が浄財を集めて建築寄進したものとされています。

丸森町観光物産協会 ☎0224-72-6663

丸森町 Marumori



白石市 Shiroishi

白石城

伊達藩の南の要衝であり、260余年間、伊達家の重臣・片倉家代々の居城として歴史を刻んできた白石城はまさに白石市のシンボル。明治7年に解体されたが、伊達政宗の片腕として名をはせた片倉小十郎景綱の偉業を偲び、平成7年に三階櫓、大手一の門・二の門が史実に忠実に復元されました。

白石城 ☎0224-24-3030



高蔵寺の近くには同じく国指定重要文化財の旧佐藤家住宅もあります。

AZ9ナビゲーター 高橋 千晶さん

平沢弥陀の杉

推定樹齢は約850年で、高さ50m、幹周り約10mの巨木。平安時代末期、丈六阿弥陀堂の参道並木として植えられ、宮城県の天然記念物にも指定されています。

蔵王町教育委員会教育総務課 ☎0224-33-3008



旧佐藤家住宅



角田市 Kakuda

高蔵寺・旧佐藤家住宅

高蔵寺阿弥陀堂は、国指定重要文化財で、宮城県最古の木造建築物です。西暦1177年に藤原秀衡の妻などの手によって建立されたと伝えられています。平安時代の阿弥陀堂で現存しているのは全国で7ヶ所あり、高蔵寺阿弥陀堂はその1つです。御本尊の阿弥陀如来坐像は像高2.7m、背後の飛雲光背を合わせると全高5.18mもあり、800年来いままなお全国各地から信仰を集めています。また、旧佐藤家住宅は江戸時代中期、約300年前に建てられた中規模農家の典型的な建物で、家の中の土間や囲炉裏、農機具などを見学できます。

高蔵寺 ☎0224-65-2038 角田市教育委員会生涯学習課 ☎0224-63-2221

歴史

経済、文化、芸術…

さまざまな歴史の旅が楽しめる浪漫的な地

南の拠点である白石城、交通の要衝である宿場町や街道、舟運で栄えた阿武隈川など。藩政時代、このエリアは伊達藩の政治・経済の要でした。宮城県を代表する歴史ある仏像や建築物も多く、文化性の高いエリアです。

蔵王町 Zao



川崎町 Kawasaki

笹谷街道

街道には珍しい松並木や昔を思わせる旧跡が多く存在しています。開通したのは1300年前、多賀城から笹谷峠を越えて、山形に入り、庄内地方にあった国府と連絡するための重要な道路として作られました。

川崎町産業振興課 ☎0224-84-2111

安藤家本陣

江戸時代後期、参勤交代で使われた大名宿。安藤家独特の切妻破風の玄関と重量感のある茅葺き屋根の立派な屋敷です。七ヶ宿街道の面影を今に伝える大変貴重な建物です。現在、住居として使われていますので内部は非公開。町の観光ガイド「ゆり太郎」同行時のみ見学可能となっています。

七ヶ宿町観光協会 ☎0224-37-2177

七ヶ宿町 Shichikashuku



Column AZ9コラム

蔵の郷土館 齋理屋敷 (丸森町)

江戸時代後期から昭和初期にかけて、阿武隈川の舟運で栄えた齋藤家。その建物と、収蔵品の寄贈を受け、蔵の郷土館として開放された「齋理屋敷」。7つの蔵と2つの屋敷に貴重な品々が展示され、往時の歴史や丸森の生活を感じることができます。



蔵の郷土館 齋理屋敷 ☎0224-72-6636

地図 E-5